

クセになる。八尾の人、まち、自然、うまいもん

Yaomania

【ヤオマニア】Vol.3 2014年・夏増刊号

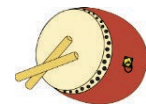
祭と音頭で 八尾の夏。

ふとん太鼓に神輿、だんじり。
河内音頭の名調子。
八尾でしか味わえない
夏祭りと盆踊り、総力ガン。

ヤオマニアの横顔
河内家菊水丸さん
(伝統河内音頭継承者・音頭取り)

Yaomania Vol.3 夏増刊号 2014年7月4日発行 発行所(社)八尾市観光協会 八尾市北本町2-1-11 電話072-9971623 編集1140B 定価0円 Printed in Japan

復活 山口レコード 館長 河内家菊水丸



河内音頭記念館



定期的に開催されている菊水丸館長による
河内音頭セミナーの様子です。



菊水丸さん監修！山口レコードレーベルCD好評発売中。



オリジナル「手拭」好評発売中！



河内音頭記念館

八尾市本町7丁目12-24 ファミリーロード商店街内
開館時間：10:00~19:00 定休日：無（年始休有）

TEL：072-995-1555

ホームページ：<http://www2.ocn.ne.jp/~yk-ondo/>

河内音頭記念館は《八尾市の魅力大使》に任命された
伝統河内音頭継承者・河内家菊水丸（八尾出身）さんを館長に迎え、
平成24年7月15日に八尾市に開館いたしました。
ちなみにこの場所は河内家菊水丸さんが学生時代に河内音頭のレコードを
大量に購入された山口レコード店があったところです。
館内には《河内家菊水丸一座》愛用の品、太鼓・ギター・アンプ・衣装や、
河内音頭に関する資料（書物・懐かしいレコード盤等）を多数展示。
又、CD、カセットテープの販売もしております。
皆様のご来館を心よりお待ちしております。

所在地



第1部 夏祭り

八尾じゅうで
ふとん太鼓が
鳴りひびく夏。

うだる暑さと共にやってくる、腹にひびく太鼓の音と担ぎ手の掛け声。
赤いふとんに白いとんぼの太鼓台は、高安の縁にも古い町並みにも心憎いほど映え、
河内音頭の盆踊りと並ぶ八尾の夏のシンボルだ。
まずは7月第1週から始まる夏祭りの見どころをたっふりと。

写真：内池秀人（P2） 中辻えり子（P3）

高安祭（7月19日・20日）の
クライマックス、玉祖神社
表参道入り口にあたる「松
の馬場」の鳥居前では各
地区が勢揃いして伝統の
「かきくらべ」が行われる。
すごい熱気！

ふとん太鼓 だんじり まくら太鼓 神輿のみ

夏祭り

7月5日（土）・6日（日）
岩戸神社・天照大神高座神社……教興寺

7月13日（日）

穴太神社……（子どもだんじり）宮町
樟本神社……北木の本子供会
北木の本

7月18日（金）・19日（土）

許麻神社……久宝寺

7月19日（土）・20日（日）

八尾神社……本町
木戸町内会……東本町
玉祖神社（高安祭）……大竹（賀茂神社）
水越（都夫久美神社）
神立
千塚
大窪
服部川（服部川八幡宮）
郡川（牛頭天王社）
黒谷（熊野権現社）
垣内
楽音寺
熊野神社……山畑
佐麻多度神社……東弓削
御劔神社……刑部
太川神社……南太子堂
淡川天神社……淡川町

7月20日（日）

八尾天満宮……やまばと子供会
八尾木西第2町会夏祭り……八尾木1丁目
柏村稲荷神社……柏村

7月23日（水）

八王子神社……神宮寺



八幡神社 (万願寺中)



八尾天満宮



淡川天神社 (淡川町)



八尾神社の神事



柏村稲荷神社 (柏村)



弓削神社 (東弓削)



佐麻多度神社 (山畑)

7月24日（木）・25日（金）

栄親会町会……本町

7月25日（金）

八尾天満宮……本町

7月25日（金）・26日（土）

淡川神社……植松町
安中町
陽光園
永畑町
南植松町

7月26日（土）・27日（日）

式部御野縣主神社……東山本町Ⅱ万願寺北
八幡神社……東山本町Ⅱ万願寺中
住吉神社……東山本町Ⅱ万願寺南・新家
八阪神社……西山本町
神劔神社……田井中
比枝神社……相生町
御劔神社……老原（南老原）
杵築神社……老原（東老原）
白山神社……老原（西老原）
弓削神社……弓削町

7月27日（日）

稲生神社……天王寺屋
府宮志紀住宅……西フレンド子供会夏祭り
志紀町

7月30日（水）・31日（木）

矢作神社……南本町Ⅱ別宮
小鹿子供会
高美町4丁目子供会
長柄神社跡（矢作神社）……東本町Ⅱ東郷太鼓保存会

8月1日（金）

恩智神社（恩智祭）……恩智・神宮寺

8月2日（土）・3日（日）

二俣夏祭り……二俣・天王寺屋



新家町新友会



由義神社 (八尾木)



三十八神社 (福万寺)



太田八幡宮 (巽町)



樟本神社 (南木の本)



加津良神社 (萱振町)



比枝神社 (相生町)

8月9日（土）・10日（日）

太陽の広場
ふれあいまつり……堤町・緑ヶ丘

秋祭り

10月11日（土）・12日（日）

加津良神社……萱振町
太田八幡宮……太田Ⅱ北町
巽町
田中町
西川町
東町
免田町
沼
木の本
南木の本
上之島町南
上尾町

10月12日（日）

杵築神社……佐堂町
若林町秋祭り……若林町

10月13日（月）

穴太神社……宮町

10月14日（火）・15日（水）

山本八幡宮……山本町

10月18日（土）・19日（日）

三十八神社……福万寺
由義神社……八尾木

10月25日（土）・26日（日）

西郡天神社……泉町Ⅱ西郡
新家町新友会秋祭り……新家町

※P8・9のMAPも併せてご覧ください。



御劔神社 (7月26日・27日)

ものづくりの街・八尾の心臓部のような老原地
区をだんじりが曳行する。これも八尾らしい風景。



式部御野縣主神社 (7月26日・27日)

万願寺北のふとん太鼓が、梅雨の明けた地元
を巡行する。手前は恩智川。とてつもなく暑い。



渋川神社 (7月25日・26日)

奈良街道沿いの渋川神社に植松町や安中町
(写真)のふとん太鼓が宮入りし、熱気に包まれる。



岩戸神社 (7月5日・6日)

二日目、山の中腹にある神社の
本殿(右)で神事を終えた御輿が
石段を下り(左上)、熊野権現社で
黒谷のふとん太鼓と出会う(左下)。
お旅所で教興寺のふとん太鼓と合
流して近鉄高安駅まで巡行。お旅
所まで両者が巡行し(上)、最後は
深夜に御輿が神社に戻る。



岩戸神社からはじまる、 祭りと祭り準備の1か月。

文＝中辻えり子(昨年の回想・写真も) 写真＝内池秀人

7月。八尾のふと
ん太鼓の祭りの始ま
りです。今年は5日・
6日の岩戸神社・天
照大神高座神社(教
興寺)に始まり、8
月1日の恩智神社、
8月9日・10日の太
陽の広場ふれあい祭
りまで市内各地で続
きます。5月中旬か

らやまんねき(高安山麓一帯)では旧街
道沿いに祭りの幟が次々に立ち並び始
め、祭りが近づくとい白い祭り提灯が幟
をつなぐようにかけられていきます。

教興寺祭り(岩戸神社)の当日。自
転車で旧170号線(東高野街道)を
南から走って行くと、垣内では子ども
会や青年団の人たちがリヤカーに乗せ
たムシロを電信柱や道標に巻き、道の
掃除もしていました。次の土・日が高
安祭(玉祖神社・楽音寺・大竹・水越・
神立・千塚・大窪・山畑・服部川・郡
川・黒谷・垣内)なので準備をしてい
るのです。

※今年の高安祭は暑や雨の開催。19・20日
となるため、状況が若々変わります。

教興寺道路沿いの駐車場内では、石

の台座の周り4か所に笹が立てられ、
しめ縄が張られています。御輿の休む
お旅所で、その横では教興寺の赤いふ
とんと白いといんぼの太鼓台がすでに置
かれていました。北に進むと幟が地区
ごとに変わっていきます。ふとん太鼓
を出している地区もありました。

自転車で巡る私の祭り気分も高まっ
てきました。南に戻って、幟の続く道
を岩戸神社に向かいます。自転車を止
めて神社の鳥居をくぐると、両側の木
立が影を作り、ひんやりとした山坂が
続く参道は掃き清められています。緑
の玉シダに覆われた石垣が見えてきま
した。石段を上ると岩戸神社で、続く
天照大神高座神社の境内には、金色の
御輿が日の光を受けて輝いています。

「祭り」と「準備」が出会い、
互いの無事を祈る。

祝詞とお祓いのあと、氏子や青年団
に担ぎ上げられた御輿が下りていきま
す。鳥居下、街道に出てすぐの所には
熊野権現社があります。境内に出され
ていた黒谷のふとん太鼓から待ってい
たように太鼓の音が響き、横の道を御



恩智神社 (恩智祭=8月1日)

神社の石段131段を降り、地元を巡行して夜更
けに再び宮入りするまでに丸一日がかりで行われ
る八尾で最も勇壮かつ華やかな祭。ふとん太鼓
に乗り込んだ4人の男(上)が打ち鳴らす重低音
や、山の緑と太鼓台の紅・白のコントラストが圧巻。



に到着すると、大きな拍手が上がります。
太鼓の音が鳴り響き、青年団の
団長の掛け声とともにふとん太鼓が担
ぎ上げられました。御輿も上がります。
七夕の頃の夜空の下で、教興寺祭りが
賑やかに繰り広げられていきます。

「わがまちのふとん太鼓が一番」の夏
祭りは、八尾のまち各地で1か月間続
いて行われます。



幟は八尾の風景と実に相性がいい。左から千塚、
郡川、水越。祭の日程に合わせて地元に幟が立
っていき、それを見て回るのも祭好きの楽しみだ



玉祖神社 (高安祭=7月19日・20日)

各地区の巡行風景が里山の自然
や古い町並みに溶け込む美しさは八
尾の財産だ。右から大竹のふとん太
鼓、郡川のだんじり(P7)、松の馬
場で氣勢を上げる水越のふとん太鼓。



11 勾欄(こうらん)
この地車では舞台と見送り
までをすべてを囲む。

12 擬宝珠(ぎぼし)
勾欄を装飾する。上地車
につくのが特徴。

13 縁葛(えんかずら)
地車の腰廻りの一番上の
部分で彫刻が見もの。

14 土呂幕(どろまく)
彫刻が施される、地車の
最大面積を占める部分。

15 縁板(えんいた)
台木と土呂幕の間にはめ
込まれる部材。

16 曳綱綱(ひきづなかん)
台木に2カ所つく曳き綱を
つける環。

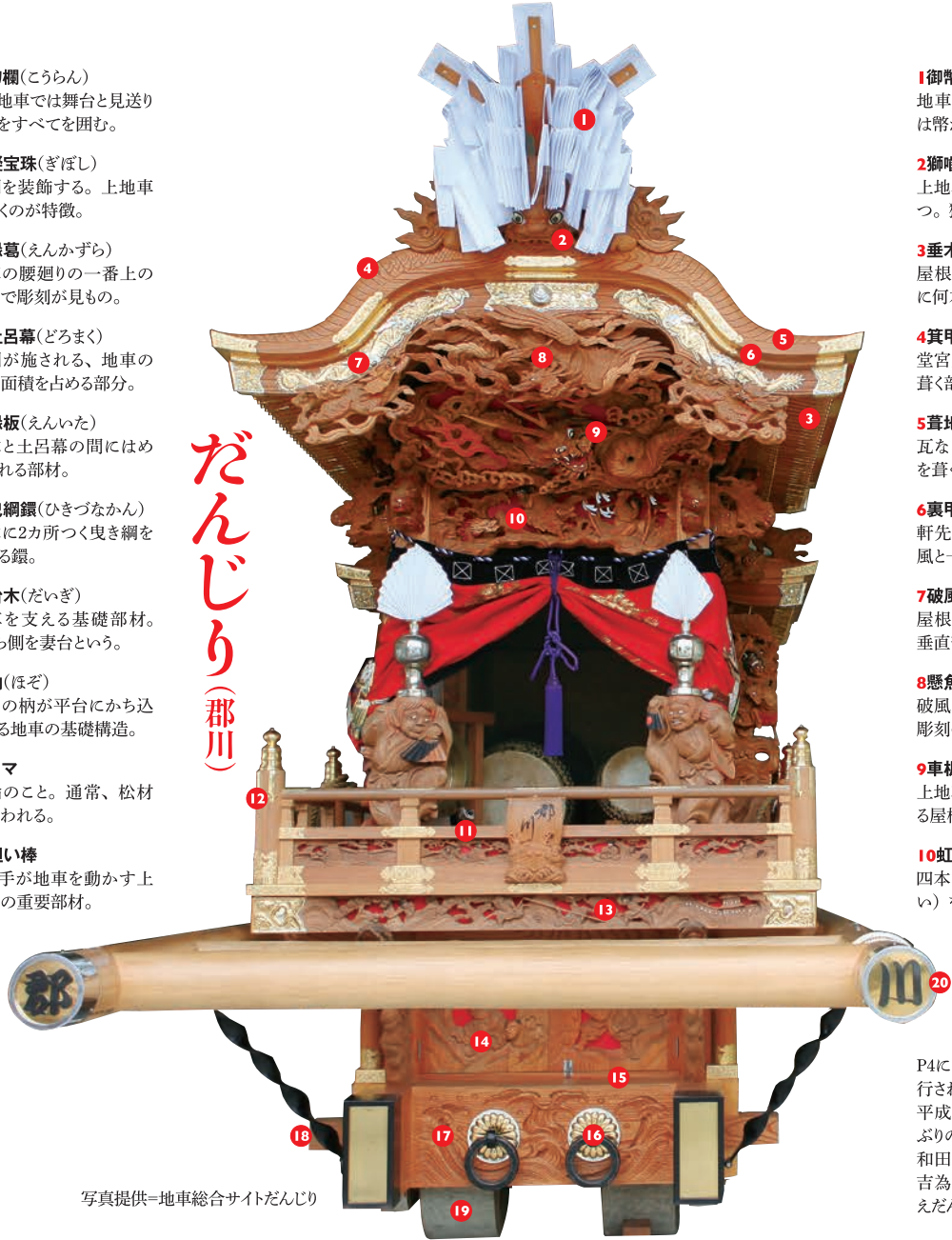
17 台木(だいぎ)
地車を支える基礎部材。
こちら側を妻台という。

18 納(ほぞ)
妻台の納が平台にかち込
まれる地車の基礎構造。

19 コマ
車輪のこと。通常、松材
が使われる。

20 担い棒
曳き手が地車を動かす上
地車の重要部材。

だんじり(郡川)



写真提供=地車総合サイトだんじり

1 御幣(ごへい)
地車の頂点になる部分に
は幣がつけられる。

2 獅噛み(しがみ)
上地車の屋根の特徴の一
つ。獅子の頭部彫刻。

3 垂木(たるき)
屋根を支える部材。水平
に何本も並ぶ。

4 箕甲(みのこ)
堂宮建築の屋根に部材を
葺く部分。曲線を描く。

5 葺地(ふきじ)
瓦など日本建築の屋根材
を葺く下地の部分。

6 裏甲(うらご)
軒先を形成する板材。破
風と一体化装飾される。

7 破風(はふう)
屋根の形状を決定づける
垂直部分。

8 懸魚(げぎょ)
破風の中央下の装飾部分。
彫刻の見せ場の一つ。

9 車板(くるまいた)
上地車特有の大彫刻が入
る屋根下の部分。

10 虹梁(こうりょう)
四本柱(写真では見えない)
を連結する部材。

P4には地区の人たちに曳
行されるだんじりの写真が。
平成14年(2002)に百年
ぶりの大修理を担当した岸
和田の地車大工の名門、
吉為工務店の棟梁は「え
えだんじりやで」とひと言

八尾の祭 大凶解。

文江弘毅
(編集者)
『岸和田だんじり讀本』編著者

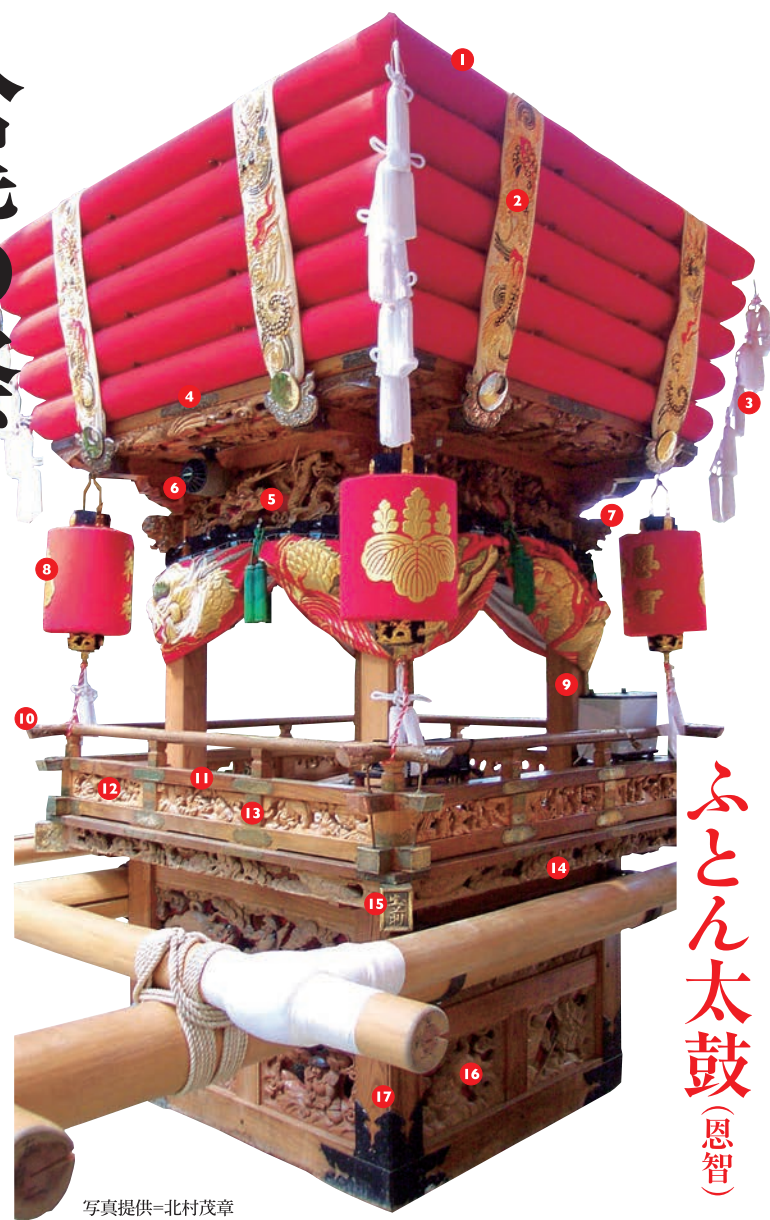
14 縁葛(えんかずら)
舞台を支える一番上の部
分。彫刻が施される。

15 縁隅木(えんすみき)
縁葛の四方の部材。町名、
紋などが彫刻される。

16 土呂幕(どろまく)
台座にはめ込まれている
彫刻部分。

17 台柱
台座の脚となる柱部分。

P5には八尾で最も勇壮な
担ぎ手たちによって鳥居を
ぐるふとん太鼓の写真や
狭い太鼓台でバチをふるう
叩き手たちの迫力の写真が



写真提供=北村茂章

1 ふとん
ふとんは5枚重ね。逆三角
形型に積まれる。

2 ふとん締め
地区、形式によってさまざ
まなスタイルがある。

3 小房(ふとん房)
ふとんの四方には白い房
がつけられている。

4 ふとん台(タガヤ)
ふとんを乗せる平板な屋
根をタガヤという。

5 枘合(ますあい)
枘組と枘組の間の部分。
彫刻が施される。

6 枘組(ますぐみ)
寺社建築に使われる屋根
の荷重を支える構造。

7 木鼻(きばな)
柱上端に通常2つつく。獅
子などが彫刻される。

8 提灯
表に五七の桐紋、裏に恩
智神社の文字が入る。

9 四本柱
屋根を支える主構造。舞
台柱ともいう。

10 跳勾欄(はねこうらん)
擬宝珠ではなく架木(ほこ
ぎ)がつく。

11 勾欄(こうらん)
舞台を囲む構造。手すり
にもなる。

12 勾欄合(こうらんあい)
勾欄にはめ込まれている
彫刻。

13 束(つか)
勾欄を支える垂直材。束
間が勾欄合になる。

ふとん太鼓(恩智)

ふとん太鼓と呼ばれる太鼓台は、東
大阪の枚岡神社、堺の百舌鳥八幡宮や
貝塚の感田神社のものが有名であるが、
それらと並ぶ恩智神社のふとん太鼓は、
淡路島系の「八尾型」といわれるもの
で、豪華なものである。

その構造は、以下の通り。

垂直に据えられた太鼓を下から囲む
台座には四方3面の「土呂幕」がはめ
こまれている。太鼓を叩く乗り子が乗
る舞台すぐ下の「縁葛」の四方には「縁
隅木」がつき、舞台を囲む「勾欄」は、
その四方に擬宝珠がつかない「跳勾欄」。
勾欄を垂直に支える束と束の間には
「勾欄合」がはめ込まれている。

ふとんを乗せる屋根を支える「四本
柱」に「木鼻」がつき、柱間の「虹梁」
と「枘合」(一体化されている)、「タ
ガヤ」と呼ばれるふとん台。これらが
ふとん太鼓の本体である。

それらには樺材が使用され、部材全
てに見事な彫刻が施されていることが
恩智のふとん太鼓の特徴だ。

また飾り付けは、豪華な龍が刺繍さ
れた赤幕が四本柱を囲み、屋根下四方
に提灯がつき、四方に小房がつけられ
た五枚のふとんを締める白い「布団締」
には同じく龍の刺繍が施されている。

重量はおおよそ2トン。それを担ぎ
棒で担ぐ。

八尾市のふとん太鼓は、この恩智神
社のものを含め、約60台を超える。

だんじり祭といえは岸和田だが、前
後の梃子で「遣り回し」をする岸和田
型地車を「下地車」と呼ぶのに対し、
それ以外の地車「八尾はじめとする
河内や大阪、北摂の地車」を「上地
車」と称している。本来、岸和田の地
車も天明時代(1780年代)泉大津
で曳かれていた上地車を改良し、発展
してきたものだ。

その上地車は研究家によると「堺型」
「住吉型」「大阪型」「北河内型」など
に分類され、細分化すると20種を超え
るといわれている。

玉祖神社の郡川で曳行されている地
車は住吉型で、幕末明治時代に一世
風靡した大工「住吉大佐」の作事、彫
刻は小松源助によるものである。特徴
は上地車に共通する「担い棒」が地車
本体四方を囲み、「擬宝珠勾欄」が、
太鼓が据えられ人が乗り込む「舞台」
と「見送り」までを囲む。

大きくむくった唐破風(屋根)の頂
点には「獅噛み」がつけられ、破風
には金銀を使った「龍に雲」の装飾がな
され、懸魚には「朱雀」と「麒麟」が彫
刻された豪華なものだ。大きな「青龍」
が彫られた車板、舞台柱前の「瓶受け」
の力士像も類を見ない。「三枚板」形式
の後見送りは「太平記」正面が「楠公
子別れ桜井の駅」であり、迫力がある。
玉祖神社の地車は四台あるが、この
郡川と垣内(かいうち)で曳行される。

祭と河内音頭

2014 MAP

地図=マップデザイン研究室

- ふとん太鼓
- だんじり
- まくら太鼓
- 神輿のみ
- 盆踊り



渋川天神社



植松東青年団



南植松青年部



万願寺巴会



天王寺屋



恩智神社



東町青年団



沼寶殿神社



神劍神社田井中氏子中



御野縣主神社



八尾神社奉賛会



教興寺青年団



樂音寺青年団



大竹青年団



水越



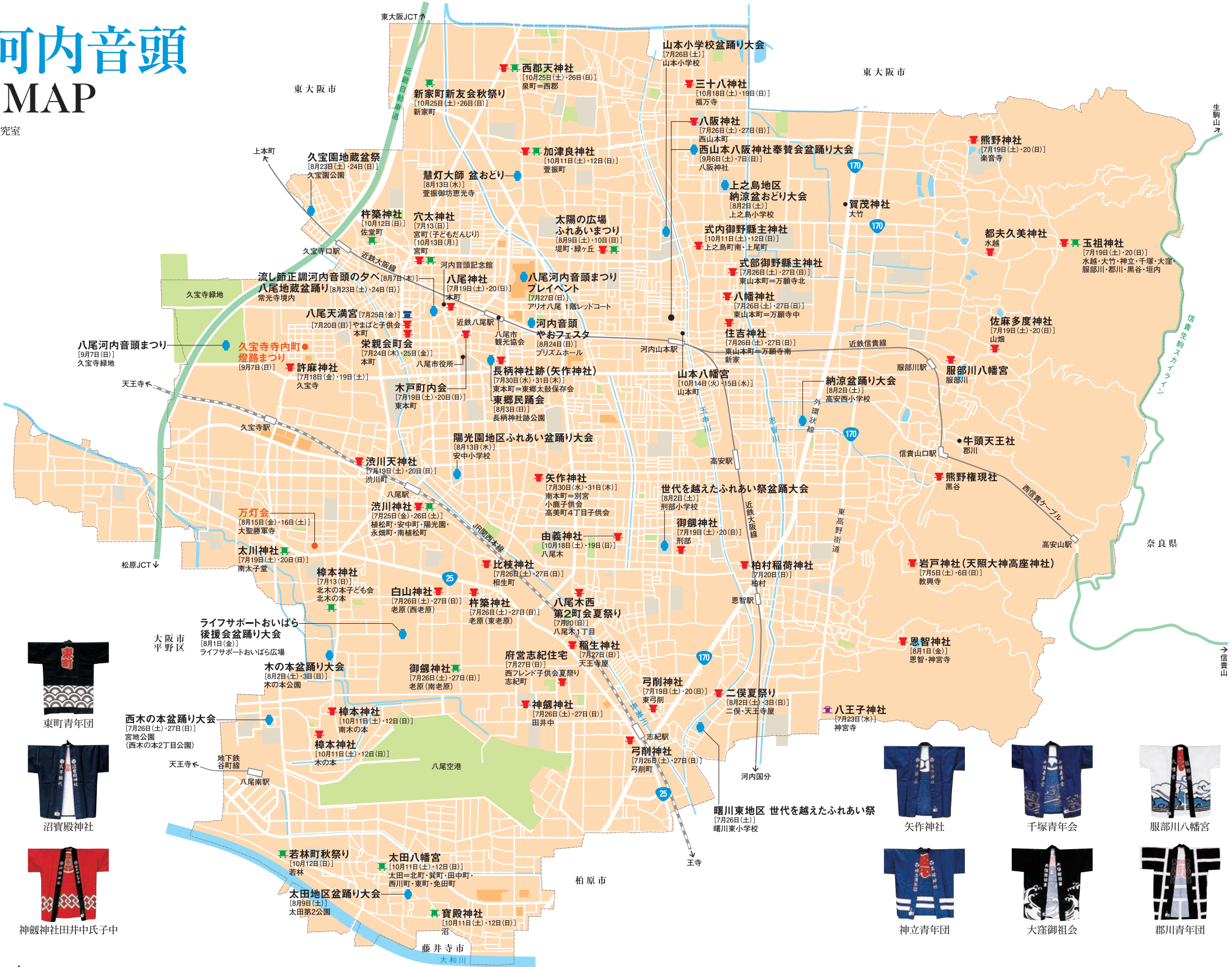
弓削壮年団



南木の本青年団若頭



御劍神社奉賛会



第2部 河内音頭



聞こえてきたら
とまらない……
近所に櫓がある
八尾の幸せ。

日が暮れて、名調子が聞こえてくると血が騒ぎ、体が動き出す。筆者はその昔、大阪の地蔵盆で踊りまくった経験から河内音頭に親しんできた……つもりだったが、それもほんの一片であることを知った。

本場・八尾の河内音頭は奥が深く、楽しみ方が多様で、ダイナミックで……全国的知名度はあれど大メジャーとは言えないほどほど感が愛おしい。まずは地元八尾の愛好家・松井幸二さんに訊く「河内音頭の魅力ってなんでしょう」から。

取材：文・きむあつこ 写真：内池秀人

「河内音頭を踊って3キロ痩せた」というおばちゃんたちの楽しい会話が偶然耳に入った。さすが八尾。その河内音頭でよく踊られる外題に「河内十人斬り」という物騒なタイトルがある。

明治26年（1893）、大阪の千早赤阪村で実際に起きた凄惨な事件だが、庶民の盆踊りにこんな酷い人間模様を語つてよいのかと心配したら、節の合間の「イヤコラセドッコイセ」の

軽快な囃しが場の空気を和らげる（落差がありすぎて大笑いした）。

『河内十人斬り』は時事ネタを大衆に聞かせる新聞詠みの十八番。『王将坂田三吉物語』『国定忠治物語』『忠臣

昭和41年（1966）沢の川商店街（現・八尾ファミリーロード）での盆踊り風景。いやあ、ホンマに楽しそう

さまざまな節が「鉄砲節」二色に。

江戸時代、河内の村々では様々な土着音頭が詠まれていたが、その一つである交野節



八尾市役所での「河内音頭踊り講座」はいつも年齢性別を問わず大盛況！

ある交野節を明治期に歌亀が改良し、それをベースとして大正初期に初代初音家太三郎が

さらに新しい感覚で改良したことから河内音頭が寄席演目として人気となった。また江州音頭とはお互いに影響し合いながら発展した。

ちなみに、八尾市老原に生まれ育った松井少年は地元の「ジャイナ音頭」に熱中したそうである。

「ゆつたりした旋律で、ジャイナイジヤイナイの文句が入るんです。音頭取り（詠み手）の人は夏が



8月23・24日、常光寺の地蔵盆踊り。思い思いの衣装と踊り方が八尾の的

クワクしたものでした。神社の木を櫓に見立てて登っては、友達と競うように真似ていましたよ」

寄席演目の河内音頭をさらに進化させたのが音楽界の風雲児と呼ばれた鉄砲光三郎だ。終始、太鼓でテンポをとり、伴奏に三味線やギターを導入するなど、ダイナミックなサウンドは革命的だったという。



まついこういち
河内音頭愛好家。芸能倶楽部「八尾まつり家会」会長。八尾で生まれ、盆踊り唄を子守唄として育ち、少年時代は柏原にも足を

運ぶなど、無類の盆踊り好き。自ら河内音頭の音頭取りとして、日々演芸ボランティア活動に動しむ一方、河内音頭の学術研究にも余念がない。



河内音頭を地域の娯楽芸能に留めてはもったいない。松井さんはこう結ぶ。

「踊りも実におおらかである。基本の振り（手踊り（P14））とリズムカルな「マメカチ」の2種類。この2つは反

対回りであるが、互いに邪魔することなく、櫓を中心に回っていく。浴衣で正装した女性陣やTシャツ軍団の若者など、世代もスタイルもバラバラなのに、多様な一体感が形成されていくさ

まは、スゴいを通り越して奇跡的である。「河内音頭は、踊りはもちろん、ポップミュージックとしての価値や物語の筋を追うなど、楽しみ方は人それぞれ。こんなおもしろい盆踊りって、ほかにありますか」……ないと思えます、たぶん。



八尾河内音頭まつりの夜に「久宝寺寺内町燈路まつり」が今年は9月7日に行われる。顕証寺（左上）山門前では盆踊りが

●松井さんお薦めの音源

世界最強河内系SONGS/続、続タカワチモンド
テイテクエンタテインメント／2012年

「まずは入門」ということならうってつけのオムニバス・アルバム。鉄砲光三郎、京山幸枝若、初音家賢次から江州音頭、泉州音頭、ヤンレー節まで、新旧の名人、名作、名演が1枚に。



甦る! 伝説の名調子
三交社（非売品）／1998年

平成10年夏、大阪市平野区の通称「松山公園」内に初音家の功績を記した顕彰碑が建立されたが、それに伴って制作。初代初音家太三郎「河内十人斬り」、初音家賢次「俊徳丸」を収録。



ふるさと八尾の百撰景
八尾本場河内音頭連盟／2009年

地元・八尾自慢の風景について、連盟所属の音頭取りたちが高らかに詠み上げた1枚。八尾市のパンフレットよりも学校校歌よりも八尾のことがスッと体に入って理解できるかもしれない。





夕暮れの久宝寺緑地陸上競技場。櫓の周りに輪ができ、みな実を楽しげに踊る（2012年・第35回）

「9・7八尾河内音頭まつり」への道。

9月7日(日)に久宝寺緑地で行われるこのお祭りに行けば、きっと河内音頭にふけるはず。ご覧のとおり客層が実に多彩。そして「主役」も老若男女そろってバラエティ豊かです。

取材・文＝中島淳(本誌) 写真＝内池秀人

陽気な詠み手を育てる「虎の穴」訪問。——「こども音頭とり講座」潜入ルポ——

「でけへんのやつたら百回言うてみたら覚えられで〜」「(隅で一對一で教える別の師匠に)師匠、前で授業してんやからもうちょい小さい声で頼みます」

全員に自分のキーと歌詞が。

5月の日曜日、八尾市役所近くのシルキーホール。1階では「こども音頭とり」1年目の生徒10人が、3階では2

年目の生徒8人が「講義」を受けていた。歌詞を見ながら、伴奏に合わせてちよいと出ましたわたくしは、

ヨンホーホーイホイと詠うと

全員(イヤコラセードッコイセー)

各人には「詠いやすいキー」があり、まずそれを確定させることが講師陣の大切な仕事だ。「じぶんは十本やったな。でもいっぺん九本に下げてみいへ

んか」と言っ、ギターの音程を調整する。ちよつと湿ってツヤのある弦の音に、テンポよくカカカツと太鼓がかぶさる。ノセ上手な師匠方がバックにいて、うらやましいぞ八尾の小学生。この日は1階も3階も「選んだ歌詞を覚える」がテーマ。題材は「ふるさと八尾」。教科書より覚えやすい。

ある受講生は

八尾の地蔵さん 常光寺

日本各地に 知れ渡る

と詠い、またある者は

八尾で最も 勇壮な

恩智神社の 夏祭り

そしてまたある者は

八尾の街から 誕生した

小松菜 春菊 ほうれん草

と詠う。この「こまつな〜」という字足らず



頑張れ男子! 泉一若(いちわか)師匠の太鼓にも力が。右は天龍小若丸師匠

の節の入り方がなかなか難しく、その都度中断しては師匠たちが集まり、「いきなり」こま

イヤ コラセードッコイセー



思い思いのファッションで受講。豊若師匠の太鼓がなかったら音頭の練習には見えないかも。聴き入るのは美好家肇師匠



ずなのに。しかもおしゃれで手足の長い、シユツとした小学生女子が

ちよつど時間と なりました

これにて 失礼 いたします

(ソラ ヨイトコサツ)

サノ ヨイヤサツサ)

と詠う光景は21世紀的でおもしろい。付き添いのお母さんと帰る姿は「ピアノですかバレエですか?」と言ってもおかしくないが、「河内音頭です」。

晴れ舞台と客の視線で育つ!

その2週間後、講師の一人である天龍小若丸師匠が主催するサマーライブ

(プリズム小ホール)に受講生何名かが出演した。少し心配していたが、声といい姿勢といい舞台態度といい、たった10日余りの違いなのに驚くほど堂々としているではないか! 「ステージとお客さんの視線は肥やしになるよ。もつと声が出るはずだから、ますます楽しくなる

と思う(小若丸師匠)

地元の人

たちの前で、

櫓の真ん中

で河内音頭

が詠え、そ

れをきいてみんなが踊る。講師の美好家肇師匠が話していた言葉がとても印象的だった。「発表の場があるのは大したことなくやで。大人でさえ櫓に上



彼女はしおんじやま古墳学習館の「ハニワこうてい」を題材に詠った。エラそうなこうていもきつとご満悦か

がりたくても上がられへん人が実際多いねんから」9月7日が楽しみだ。

私たちも9.7が待ち遠しい!

踊りは楽しくないとあきません。

山崎美恵驚さん(かわち撫子会代表)

八尾に嫁ぐまで踊りと縁がなかったのですが、昔見た欽砲光三郎さんのCMを覚えていて、河内音頭とどこかでつながっていたんですね。今はいろんな踊り方があり、どれが本来の河内音頭?と訊かれることが多いんです。踊ってみましょうか。指先をそろえて目線は指先足先に向ける。腕は脇より上げて、はい、半拍止めて(見とれる)。河内音頭は一人で踊るものじゃない。だからこそ、大勢の動きが揃うととても見応えがあるんです。かわち撫子会も八尾河内音頭まつりのグランプリに出場しますが、当日はピンクと白に染め抜いた浴衣と水色の帯が目印ですよ。



やまざき・みえおう日本舞踊や民謡、歌謡曲と幅広くこなす八尾市舞民踊協会会長。河内音頭まつりには昭和53年(1978)の第1回から出演し、まつりサイト「リカワチ!」にも動画で登場。

てるてる坊主作らなあかん。

伊藤嘉宏さん(八尾河内音頭まつり振興会実行委員長)

「八尾のまちを大事に。儲けることよりもまずは地域に貢献していきや」と祖父と親父にいつも言われていました。第35回(2012)で会場を八尾小学校から久宝寺緑地に移したときは踊りが好きな人だけでなく、八尾に住む人も地元で商売する人もみんなが楽しんで潤う祭りにしたかった。参加者は過去最高の4万人。去年は雨で減りましたが。マルシェやB級グルメも好評ですが、あくまで地元の店がメインです。店主からも祭りがきっかけで普段も客が増えたという声が多くて喜ばれています。今年は「大坂の陣四百周年」にちなんだ出し物も計画中です。



いとう・よしひろ地元の各種団体の代表や祭りに熱い総勢100人で構成される実行委員会の長で面倒見よしの黒柱的存在。大正15年(1926)創業の化粧品店「かもじや」三代目。

河内音頭こども音頭とり講座

八尾市が平成21年から毎年行っている伝統文化推進事業の一環。「河内音頭をきいて覚えるところからうたえるようになるまでの全8回講座」で、八尾本場河内音頭連盟の師匠方が総力挙げて指導し、4月下旬から月2回開かれている。受講生「10人」枠に今年は50人が応募し、オーディションで選出された。9月の「八尾河内音頭まつり」は彼らにとって晴れ舞台、卒業発表の場だ。八尾市魅力創造室☎072-924-9375



第35回河内音頭まつりでこども音頭とりとして櫓に出た木村大介くんは今年も登場。「自分の歌に合わせて人が踊りだす瞬間がたまらない」(2014.5.1読売新聞)



しぎ・かずわか子供の頃から盆踊りが好きで音頭取りに憧れ、16歳の時に梅乃家正春に入門し師事。八尾本場河内音頭連盟副会長

信貴一若さん

今年は親御さんも一生懸命なので上達も早いです。9月7日までの間、彼らもいろんな櫓に出演するのでマメに覗いてください。八尾河内音頭まつりでは音頭取りごとの「語り」の違いに注目。



てんりゅう・こわかまる昭和43年(1968)に河内音頭日乃出会に入門。サービス精神旺盛で司会も上手い。八尾本場河内音頭連盟副会長

天龍小若丸さん

若い時分なら長い歌詞でも覚えられからチャンス、歳いっただんなかなか(笑)。稽古を休まんと続けたら9月7日はええ櫓になります。八尾河内音頭まつりが全国区になるよう私も頑張りたい。



はつねや・とよわか宗家二代目初音家賢次に師事。八尾河内音頭まつりには第1回から出演。八尾本場河内音頭連盟会長

八尾河内音頭まつりに出演するこども音頭とりの講師(師匠)

初音家豊若さん

教えているのは技術的なこと以上に、挨拶・姿勢・礼儀です。若い子たちが「自分の音頭」を詠ってくれるのはうれしいこと。河内音頭のふるさとで詠うと意識してほしい。ぜひ見に来てください。

河内音頭の踊り方



イラスト：インジリヨオ

盆踊りスケジュール ※MAPはP8・9を

- 7月26日(土)
曙川東地区 世代を越えたふれあい祭 曙川東小学校
山本小学校盆踊り大会 山本小学校
- 7月26日(土)・27日(日)
西木の本盆踊り大会 宮地公園(西木の本2丁目公園)
- 7月27日(日)
八尾河内音頭まつりイベント アリオ八尾1階レッドコート
- 8月1日(金)
ライフサポートおいばら後援会盆踊り大会 ラーフサポートおいばら広場
- 8月2日(土)
上之島地区納涼盆おどり大会 上之島小学校
世代を越えたふれあい祭盆踊大会 刑部小学校
納涼盆踊り大会 高安西小学校
- 8月2日(土)・3日(日)
木の本盆踊り大会 木の本公園
- 8月3日(日)
東郷民踊会 長柄神社跡公園
- 8月7日(木)
流し節正調河内音頭の夕べ 常光寺境内
- 8月9日(土)
太田地区盆踊り大会 太田第2公園
- 8月9日(土)・10日(日)
太陽の広場 ふれあいまつり 太陽の広場
- 8月13日(水)
慧灯大師 盆おどり 菅振御坊恵光寺
陽光園地区ふれあい盆踊り大会 安中小学校
- 8月23日(土)・24日(日)
八尾地蔵盆踊り 常光寺境内
久宝園地蔵盆祭 久宝園公園
- 8月24日(日)
河内音頭やおフェスタ プリズムホール
- 9月6日(土)・7日(日)
西山本八阪神社奉賛会盆踊り大会 八阪神社
- 9月7日(日)
八尾河内音頭まつり 久宝寺緑地
久宝寺寺内町燈路まつり 久宝寺寺内町一帯

大阪で「盆踊り練習会」

Yaomania&ナカノシマ大学 スペシャル講座

本誌で河内音頭の魅力を語ってくれた松井幸一さんの解説と、山崎美恵篤さんの踊り指導、そして天龍小若丸師匠の音頭を聴きながら大阪・堂島川沿いのビルの屋上で踊れるごきげんな講座です。

8.5(火) 18:30~20:00

●古河大阪ビル本館屋上(地下鉄肥後橋駅北へ徒歩5分)

入場料／2,000円 定員／50名

主催／ナカノシマ大学事務局 協力／八尾市

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、FAXまたはHPの応募フォームからお申込みください。ハガキ、faxについては人数分の必要事項や講座名を必ずお書き添えください。先着順に受け付けます。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4F

ナカノシマ大学8月講座①受付係 FAX.06-4799-1341

http://nakanoshima-univ.com/



夜も更け、ますます盛り上がる常光寺の櫓。昭和52年(1977)から今年で38年連続。「一段櫓なのに、あれくらいにぎわうのはすごいです」

ヤオマニアの横顔

伝統河内音頭継承者・音頭取り

河内家菊水丸さん

「八尾の櫓はどこも熱気が違います。早く地元の若い音頭取りと競演したい」



あれだけ大勢の人が来るのに、踊り手と舞台との距離も近くて理想的だと思います。控室も昔と一緒にです、そこから音頭が聞こえてくるのもまったく同じで、懐かしい感じがします。

せんが、その頃は近くに交番もあったし、警察官も私服に着替えて踊ってました。この盆踊りも衝撃的でした。

音頭の新星、八尾から出よ。

僕が八尾中学校に3年間在籍している間、運動会の対抗リレーが終わって、最後に河内音頭がありました。ナマの音頭で全校生徒が踊りました。授業でも教えてたんです。僕が音頭を取って、同級生が太鼓叩いて、軽音学部行ってギターが巧いやつをスカウトして。卒業後、無くなってしまっって、一度は復活したんですけど、また無くなりました。とても残念です。

こないだ八尾に住んでいる少年音頭取りの木村大介くん(11歳・P13)にばったり会いました。彼の口から「詠う前は緊張するけど、櫓に上がったら緊張がどっか行ってしまう」っていう言葉を聞いて、ああ、昔の僕と一緒になあ、と。長いこと忘れてた気持ち思い出しました。ようやく出てきたかと。嬉しいですね。

取材文：安田謙 写真：内池秀人

はじめて親父(芸名は河内家菊水)の河内音頭の実演を観たのは小学校3年のとき。昭和47年(1972)です。長龍という酒造会社の大きな空き地で盆踊りがあったんです。その時の看板を小沢昭一さんが偶然撮影されていて、写真集『珍奇絶倫小沢大写真館』にも載ってます。櫓の上の親父を観て、自分も詠ってみたいな、と思ったのが、そもそものはじまりでした。

中学3年のときに久乃家勝美師匠に弟子入りして、はじめて常光寺に出ました。昭和52年(1977)の8月23日です。自宅のある長池町から山口コード(現在は菊水丸氏が館長を務める河内音頭記念館)の前を通ったとき、小さいスピーカーからキャンディーズの「暑中お見舞い申し上げます」が流れて、ファンだったんで曲を聴き終えてから、さあ行かと思ったら、京山幸枝若師匠の「続 雷電と八角」が流れてきて、また聴きこんでしもうて…というのを覚えてます。あの時と今と常光寺はまったく変わっていません。



館長を務める河内音頭記念館では月1回河内音頭セミナーを担当。太太鼓で伴奏の講義を

かわちや・さくすいまる

1963年八尾市生まれ。9歳で父・河内屋菊水に入門。80年「河内家菊水丸」の名で初舞台。84年「新聞詠み」を復活させ、世相・事件を題材とした作品を2000以上発表。2007年、前人未到の9000櫓を達成。09年秋からは新聞詠み河内音頭家元を返上し、古調の河内音頭の保存伝承に専念。著書に自らの少年時代を振り返った小説『音頭ボーイ』(ヨシモトブックス)等が。甲状腺がん手術を経て、この夏も元気いっぱいのお歌で出陣。「八尾の魅力大使」でもある。